

## 5 スピーチ発表記録

### ■ 奨励賞 ■

## 北方領土と私たち

おおにし ゆかり  
大西 由佳理

横浜市立金沢中学校3年(神奈川県)

北方領土問題。それは、ロシア政府が日本の大切な領土を不法に占領している問題で、日本が抱える外交問題の一つです。この問題を解決するために、初めは日本政府がロシア政府に「北方領土は日本のものである。」と証明する文章を送るなどして交渉を続けていくのが良いと思っていましたが、北方領土問題について調べていると、2020年にロシアの憲法に「領土の分譲やそれを呼びかける行為を禁止する項目」が追加されたことが分かりました。こうなってしまうと、北方領土の完全な返還というのはかなり難しくなってくるはずです。

これを受けて、この問題を解決に近づけるための理想を一つ考えてみました。それは北方領土に日本とロシアの共同の研究施設や観光施設を作ることで、日本とロシアの共同事業を行う場所として使っていくことです。ロシアには石油や天然ガス、石炭を始めとした豊富なエネルギー資源があり、中でも天然ガスは次世代エネルギーとして注目されている水素を製造する際にも使われているそうなので、ロシアが資源を、日本が場所を提供し合う形でその様なことに関する研究をしていけたらこの問題を解決に近づけることが出来る上に、両国の科学技術の向上にも繋がると思います。

しかし、北方領土問題について知れば知るほど、今の状況でこの理想を実現するには課題があまりにも多すぎて難しいだろうと感じるようになりました。ただ、多く

の人が北方領土に対して関心を持ち、どうすれば問題解決に繋がるのかを考えることは、ウクライナ侵攻で交渉が停滞している今、とても大切なことなのではないでしょうか。実際、北方領土に対する世論アンケートでは、18~29歳におけるこの問題の関心度は全体と比べて低くなっていました。最近、北方領土の元島民の高齢化が問題視されている中で、関心度まで下がってしまっ  
てはいつかこの問題が風化する日が来ってしまうかもしれません。そのようなことを防ぐためには、より多くの人がこの問題を正しく理解する必要があります。そこで、私はSNSを活用すれば若い世代からの興味を引けるのではないかと考えました。5年前に私の祖父母が豪雨によって被災した時も、SNSを通じて現地の情報を知りました。この他にも、SNSは戦争をしている地域や被災地の様子を知るきっかけになっている例が多くあるので、北方領土問題の大まかな概要などを動画にして発信したり、クイズを作って公開したりすることで、この問題をより身近なものに出来れば、若い世代からの関心度も上がり、正しく理解する人が増えることにも繋がると思います。

北方領土問題は、遙か遠い国で起こっていることでも、物語でも、過去の問題でもありません。全て、日本で今起きていることなのです。これをより幅広い世代の多くの人が意識し、北方領土が返還されることを信じて、私達は行動を続けるべきではないでしょうか。